

こんにちは。
町長です。

「西関東連絡道路」の延伸による長尾根トンネルの開削促進に向けて



秩父郡市内(1市4町1村)選出の県議会議員、市町村議会議員の有志をもって構成され、市町村長等が相談役に就任している秩父地域基幹道路建設促進議員連盟の総会において令和3年度活動指針の最重点要望路線として「西関東連絡道路」一般国道140

号皆野秩父バイパスの延伸区間となる一般国道140号(仮称)長尾根バイパスについて、早期に事業化するように国、県に要望することが承認されました。

ご案内のとおり、一般国道140号皆野秩父バイパスの開通により市内蒔田地区で一般国道299号に接続し、関越自動車道花園ICから小鹿野町など西秩父地域へのアクセスは飛躍的に向上しましたが、長尾根丘陵が障害となり、秩父市街地へは直接アクセスすることができず、秩父市街地から西秩父地域への往来においても大きく迂回する必要が生じています。

そのため、今回の要望内容は一般国道140号皆野秩父バイパスと秩父市街地を直結し、さらに秩父市街地と小鹿野方面との連携を強化する一般国道140号(仮称)長尾根バイパス(長尾根丘陵のトンネル開削を含む)を「西関東連絡道路」の一部として早期に事業化することを目指すというものです。

ルート変更の主な理由といたしましては、現状の交通量実績から将来予測を行うと、西関東連絡道路の当初構想ルート(秩父小鹿野バイパスとして町内長留方面から市内荒川地区を通り大滝トンネルに接続するルート)では、事業実施に当たり費用対効果が小さく、長尾根トンネル単体の整備では国の個別補助事業の採択要件にも合致しないことから、従来の要望内容で

の事業化は非常に厳しいものであると判断されたことによるものです。

私といたしましては、今回の要望内容につきましては、西関東連絡道路が町内を通過する当初の構想ルートとは異なるものにはなりますが、町民の悲願とも言える長尾根トンネルの整備を考慮した構想路線であり、大変実現性の高いものであると認識しております。

現在、西関東連絡道路の一環として整備が進められている「大滝トンネル」の次に事業採択していただけるよう、できる限りの協力をさせていただくとともに、町にとっても有利な条件で検討が進められ、効果的で利便性の高い道路網となるよう秩父地域基幹道路建設促進議員連盟と連携して国、県に要望してまいりたいと考えています。

特に、構想路線の変更に伴う「西関東連絡道路」一般国道140号(仮称)長尾根バイパスへの町からのアクセスにつきましては、町民の利便性にできる限り配慮していただくとともに、一般国道299号の千束峠の線形改良や、町内両神地区を通り一般国道140号に接続する主要地方道皆野両神荒川線(特に市内荒川古池地区周辺)などの早期の道路改良も併せて要望してまいりたいと存じます。

今後、国や埼玉県、関係市町村、関係機関において、協議・検討が進められることとなりますが、新たな構想ルートをご理解いただく中で、秩父圏域をあげて、本事業構想の早期推進が図られるよう努めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様にも本事業構想の推進にご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。

小鹿野町長 森 真太郎